

## 高岡市教育委員会 9 月定例会議事日程

日時：令和 7 年 9 月 24 日（水）

午後 3 時 30 分～

場所：高岡市役所 8 階 801 会議室

日程第 1 前回会議録の承認（8 月定例会）

日程第 2 教育長報告

日程第 3 報告第 7 号 臨時代理の報告について  
（高岡市議会 9 月定例会に提出する議案に対する意見について）

日程第 4 議案第 19 号 令和 7 年高岡市教育委員会教育功労者表彰について

日程第 5 その他

# 高岡市教育委員会令和7年8月定例会会議録

## 1. 開議・閉議年月日及び場所

令和7年8月27日（水）  
開会 午後1時30分  
閉会 午後1時55分  
高岡市役所8階801会議室

## 2. 教育長及び教育長職務代理者

教 育 長	近 藤	智 久
職務代理者	長 尾	順 子

## 3. 出席委員の氏名

1 番	藤 重 歩
2 番	長 尾 順 子
3 番	成 瀬 隆 倫
4 番	永 岩 聡
教育長	近 藤 智 久

## 4. 欠席委員の氏名

なし

## 5. 事務局出席者

教育次長	村 上 彰
教育総務課長	芹 山 奈 緒 樹
教育次長（事）学校教育課長	津 田 久
生涯学習・スポーツ課長	高 山 篤 志
文化財保護活用課長	釣 和 洋
教育委員会参与	鳥 内 禎 久
教育センター所長	高 松 毅

## 6. 傍聴者

なし

## 7. 書記の氏名

野 吾 達 也
中 村 祐 太

【議事日程】

日程第 1 前回会議録の承認（7 月定例会）

日程第 2 教育長報告

日程第 3 議案第 18 号 教育委員会の事務の点検及び評価について

日程第 4 その他

# 会 議 要 旨

令和7年8月27日（水）

午後1時30分、近藤教育長が開会を宣して議事審議に入る。

## 〔日程第1〕 前回会議録の承認

□ 先の7月定例会の会議録について、全出席委員が確認し、これに異議がなく、会議録として承認した。

## 〔日程第2〕 教育長報告

### 【学校教育課、教育センター】

#### ・9月行事予定（資料No.1）

委 員：9月1日の防災の日に殆どの学校が防災訓練を実施しているが、2学期が8月27日から始まったから実施できているということか。

事務局：各学校が行事予定を考慮しながら、9月1日前後で実施している。8月中に行っている学校もある。

委 員：適応指導教室が実施する陶芸教室は、匠の里で行うとのことだが、各自の移動手段はどうなっているのか。

事務局：保護者に送迎いただき、現地集合現地解散としている。

委 員：学校の行事でバスを使う際、バスの貸し切り代が、各学校にとってネックになっていると思う。学校間で連携して貸切るなど、有効に活用することができないか。

事務局：陸上練習や校外学習においては、複数の学校を時間差で送迎したり、合同で実施したりといった工夫を行っている。

### 【生涯学習・スポーツ課】

#### ・9月行事予定（資料No.2）

### 【文化財保護活用課】

#### ・高岡再発見プログラム「たかおか解体新書」について（資料No.3）

委 員：万葉まつりの開催に合わせて実施することは、とても良い試みだと思う。

夏休み期間中、児童生徒向けに万葉線の無料乗車券が配布されている事例もあるが、その時期は暑くて外出をためらう人もいたのではないかと思う。

例えば実施時期も考慮しながらこうした他部局の取り組みとも連携することで、更に盛り上げていけば良いと感じた。

事務局：来年度も異なるテーマで実施することを考えているので、頂いたご意見も参考にしたい。

□ 他に意見はなく、報告のとおり了承した。

### 〔日程第 3〕 議案第 18 号 教育委員会の事務の点検及び評価について

委員：トップアスリート支援事業について、スポーツで優秀な成績を修めた子達は県外の有力な学校に進学することが多いと思うが、長期的に支援する体制が求められるのではないかと思う。本事業は、現在市内で活躍するトップアスリートの支援がメインだと思うが、長いスパンで選手の活躍を追っていくような評価も項目に加えたらよいのではないかと感じた。

事務局：市内のトップアスリートやネクストアスリートが、全国にはばたいたときに、どのような活躍をしているか把握することは重要だと思う。支援の在り方として、ご意見を参考にさせていただきたい。

委員：学校では、いじめた子を指導する立場で指導することが多いと思うが、いじめた子の悩みを聞いてあげるといった、親ができないことを学校で行うことが大事かと思う。いじめをする親のケアは、中々難しいものがある。

事務局：指導者側は、いじめる子の背景を常に考えていく必要があるし、背景に家庭が関わっていることに伴う SOS のサインであるという認識で対応していくことが大切だと思う。今回外部有識者よりご意見いただいた内容は、保護者代表からの意見であり、学校が PTA と連携し、保護者に学びの機会を設けていくことが大切だと考えている。

庁内福祉部局との連携も欠かせず、ワーキングを重ねながら、支援の在り方についても検討しているところである。

委員：先日の発表会で、自分の体験を踏まえながら、高岡市にフリースクールを作ってほしいという発言もあった。親の中にも苦しんでいる方がいると思う。

事務局：今後整備する教育総合支援センターが、気軽に相談できる施設であればよいと思う。

□ 審議の結果、全出席委員これに異議がなく、原案のとおり了承した。

### 〔日程第 4〕 その他

□ 他に意見はなく、了承した。

午後 1 時 55 分、議事が終了したので教育長が閉会を宣した。

10月主要行事予定表(仮)

高岡市教育委員会 学校教育課（2025年度）

日	曜日	全 体 関 係	小 学 校・国吉義務教育学校(前期)						中 学 校 国吉義務教育学校(後期) こまどり支援学校	教育センター 少年育成センター	日
			第1 国吉 五位 福岡	第2 博 労 高岡西部 南 条 木 津	第3 成 美 万 葉 能 町	第4 高 陵 下 関 二 塚 野 村	第5 伏 木 古 府 牧 野 太 田	第6 戸 出 東 部 戸 出 西 部 中 田			
1	水					講野村			中志貴野、五位 (～10/2) 外高陵		1
2	木								訪高岡西部 外牧野、高陵 中南星、戸出(～10/3) 中こまどり(～10/8)		2
3	金	中学校校長会 7								地区相談会⑧ (13:30 戸出 CC)	3
4	土	県中学校駅伝競走大会 中部日本吹奏楽コンクール 万葉集「朗唱の会」	学五位	学高岡西部、 南条	学万葉	学二塚、高陵	学太田、古府、 牧野	学戸出東部、 戸出西部		万葉朗唱の会参加	4
5	日	県中学校文化祭		学博労	学能町						5
6	月		休五位	休高岡西部、 南条、博労	休万葉、能町	休二塚、高陵	休太田、古府	休戸出東部、 戸出西部			6
7	火	給食献立研究委員会 2	交国吉義務	交高岡西部、 南条・博労 ・木津	交成美・万葉 外能町				訪伏木 中芳野(～10/8)		7
8	水	小学校校長会 6 県中教研研究大会（保健）			交能町		交牧野	交戸出東部	講志貴野		8
9	木	県中教研研究大会（教科）	講五位	就木津 講博労	講万葉 外能町	交高陵・野村	創古府				9
10	金	特別支援交流学習（中）		講高岡西部	就成美 外能町	創二塚	外伏木・古府 ・太田 休牧野	交戸出東部・ 戸出西部・ 中田 芸戸出東部		適スポーツ交流会 (氷見)	10
11	土	高岡地区新人大会 市中学校文化祭 中教研理科学習発表会	学福岡								11
12	日					学下関					12
13	月	スポーツの日									13
14	火									適体育活動	14
15	水	県中教研研究大会 (道徳、特活、特支)	交五位・福岡	宿高岡西部 (～10/16)	外能町	交二塚・下関					15
16	木	学事研企画運営研修会 5	就五位 講福岡	就博労、南条 講高岡西部		外下関 就高陵 講高陵	交伏木・古府 ・太田 講牧野	就戸出東部 講戸出西部	中牧野(～10/17) 合志貴野		16
17	金	学校給食会施設衛生委員会	休福岡	外博労	外万葉	芸二塚 も高陵 休下関	避太田	外戸出西部			17
18	土		学国吉義務	学木津	学成美	学野村			学合高陵、戸出、中田、 福岡、国吉義務、 こまどり		18
19	日						学伏木	学中田			19
20	月	14歳の挑戦(志貴野、南星) (～10/24)	休国吉義務	休木津	休成美	外高陵 休野村	休伏木	休中田	訪五位 休高陵、戸出、中田、 福岡、国吉義務、 こまどり		20
21	火			外博労 講高岡西部	外能町 講能町	訪二塚	就古府 外牧野		外南星	適体育活動	21
22	水		外福岡	外高岡西部	就万葉			芸中田	外芳野		22
23	木		就国吉義務 外福岡	も高岡西部	外能町	就二塚、野村	外古府 就牧野、伏木	就戸出西部	外志貴野		23
24	金		就福岡			も下関					24
25	土	全日本小学生バンドフェスティバル							学合高岡西部、伏木		25
26	日										26
27	月	14歳の挑戦(五位) (～10/31)	避国吉義務	講博労	マ能町	外野村	マ太田	訪中田	講志貴野 避国吉義務 休高岡西部、伏木		27
28	火			も木津	就能町 フ成美	外二塚 も野村		講戸出西部	訪福岡 交こまどり	適体育活動	28
29	水	定例教育委員会	マ国吉義務 (～11/7) 外福岡	も木津 外木津		就下関 外高陵	就太田		外五位、こまどり 説高岡西部、伏木	ICT活用推進委員会③ (15:30 守護町)	29
30	木	東海北陸地区公立学校教頭会 研究大会「富山大会」	租福岡								30
31	金			講高岡西部	も成美	芸下関	外古府		授南星		31

- 創 創立記念日（式）
- 外 校外学習
- 交 交流会（音楽）
- 学 学習・文化活動発表会・学校祭
- 合 合唱コンクール
- マ 校内マラソン大会
- 訪 学校訪問研修会・要請訪問研修会
- 中 中間考査
- 就 就学时健康診断
- 休 繰替休業
- も ものづくりデザイン科実習・見学（校外）
- 授 授業参観
- フ ファイアパーク
- 適 適応指導教室
- 講 出前講座(授業)・講演会・講習会・教室
- 芸 芸術鑑賞会・演奏会・ワークショップ
- 租 租税教室
- 説 高校（進路）説明会

事 務 連 絡

令和 7 年 9 月 25 日

所 属 長 様

高岡市教育委員会

学校教育課長 津田 久

令和 7 年度卒業式 並びに  
令和 8 年度第 1 学期始業式 及び 入学式の期日について

このことについて、下記のとおり実施しますので、お知らせいたします。

記

1 令和 7 年度卒業式

小 学 校 . . . . . 令和 8 年 3 月 1 3 日 (金)

中・義務教育・特別支援学校 . . . . . 令和 8 年 3 月 1 2 日 (木)

2 令和 8 年度 1 学期始業式

小・中・義務教育・特別支援学校 . . . . . 令和 8 年 4 月 7 日 (火)

3 令和 8 年度入学式

小・義務教育学校 . . . . . 令和 8 年 4 月 8 日 (水)

中・特別支援学校 . . . . . 令和 8 年 4 月 9 日 (木)

4 その他

令和 7 年度離任式

小・中・義務教育・特別支援学校 . . . . . 令和 8 年 4 月 9 日 (木) 午後

\* 高岡市公式ホームページ

子育て・教育＞小中学校＞お知らせ＞始業式・終業式・入学式・卒業式の日程  
に掲載します。

## 令和7年10月主要行事予定（スポーツ関係） 生涯学習・スポーツ課

施設名		時間	行事日程
日	曜日		
東洋通信スポーツセンター（高岡市民体育館）			
12	日	8:00～17:00	第28回高岡市バレーボールフェスティバル
13	月（祝）	9:00～17:00	「スポーツの日」無料開放

## 城光寺野球場・城光寺補助競技場

4・5	土・日	8:00～	呉西地区新人少年野球大会
11・12	土・日	終日	2025 TOYOTA GAZOO Racingラリーチャレンジin高岡万葉
13	月（祝）	8:00～	第14回 高岡ケーブルネットワークカップ少年野球大会
18・19	土・日	8:00～	令和8年度東日本軟式野球大会 富山県大会（1部）

## 城光寺陸上競技場

11・12	土・日	終日	2025 TOYOTA GAZOO Racingラリーチャレンジin高岡万葉
13	月（祝）	9:00～17:00	「スポーツの日」無料開放

## 万葉スポーツセンター

5	日	8:00～15:00	第40回高岡市ビーチボール協会秋季大会
13	月（祝）	12:00～17:00	「スポーツの日」無料開放

## スポーツコア（テニスコート）

4～6	土～月	9:00～17:00	北信越学生ソフトテニス選手権大会（大学）
11	土	9:00～17:00	高岡地区中学校新人大会 ソフトテニス
12	日	9:00～18:00	秋吉カップ争奪クラブ対抗戦（第3回エキスパート、第14回オープン）
16	木	9:00～17:00	ウィークデー杯テニス大会
18	土	9:00～18:00	富山県高校秋季ソフトテニス選手権大会呉西地区予選
19	日	9:00～17:00	令和7年度ビギナーズ・ダブルステニス大会 第52回高岡市ミックス・ダブルステニス大会
25・26	土・日	9:00～18:00	富山県高校秋季ソフトテニス選手権大会

## スポーツコア（サッカー・ラグビー場）

5・25	日・土	9:00～19:00	高円宮杯JFA U-15サッカーリーグ2025 第19回富山県リーグ
11・12	土・日	9:00～15:00	高岡地区中学校新人大会 サッカー競技
18	土	10:00～15:00	第105回全国高等学校ラグビーフットボール富山県大会
25・26	土・日	9:00～15:00	2025年度 JFA第49回全日本U-12サッカー選手権富山県大会

## スポーツコア（人工芝フィールド）

4・5 18・19	土・日 土・日	14:00～21:00	2025年度 JFA第49回全日本U-12サッカー選手権富山県大会
11・12	土・日	9:00～15:00	高岡地区中学校新人大会 サッカー競技
13	月（祝）	9:00～14:00	島田杯 第54回富山県U-10サッカー交歓会
19	日	10:00～14:00	全国高校サッカー選手権 富山県大会
25	土	13:00～16:00	令和7年度富山県高等学校新人大会 サッカー競技

## 竹平記念体育館

12	日	8:00～17:00	第28回高岡市バレーボールフェスティバル
24	金	8:30～15:00	高岡・射水・氷見地区ふれあい育成スポーツ大会
25	土	8:30～21:00	令和7年度 富山県高等学校秋季バスケットボール選手権大会兼 第78回全国高等学校バスケットボール選手権大会富山県予選会
26	日	7:30～18:00	富山県社会人クラブ対抗バドミントン大会



## 令和7年10月主要行事予定（スポーツ関係） 生涯学習・スポーツ課

施設名		時間	行事日程
日	曜日		
前庭球場			
13	月（祝）	9:00～17:00	「スポーツの日」無料開放
19	日	8:00～17:00	高岡地区中学校新人大会 ソフトテニス競技

## ふくおか総合文化センター

12	日	8:00～17:00	北陸ラージボール卓球オープン 10月なし・リンゴ大会
16	木	8:00～12:00	高岡市老人クラブ連合会カローリング大会
22	月	8:00～17:00	第5回富山県チャンピオン大会西部Aブロック（高岡・氷見・射水）選抜大会（カローリング）
26	日	8:00～17:00	ラージボール卓球大会（初級中級）
31	金	13:00～21:30	第73回秋季北信越学生卓球選手権大会

## 高岡西部総合公園（野球場）

4・5	土・日	8:00～	呉西地区新人少年野球大会
11・12	日・月（祝）	8:00～	第153回北信越地区高等学校野球大会
18・19	土・日	8:00～	第14回 高岡ケーブルネットワークカップ少年野球大会

## 高岡西部総合公園（多目的広場）

			野球場使用者と同様
--	--	--	-----------

## 高岡西部総合公園（室内多目的スペース）

			野球場使用者と同様
--	--	--	-----------

## 高岡武道館

13	月（祝）	9:00～17:00	「スポーツの日」無料開放
----	------	------------	--------------

## 令和7年10月主要行事予定（文化関係） 生涯学習・スポーツ課

施設名		時間	行事名
日	曜日		

## 生涯学習センター事業

2	木	13:30～15:00	勝興寺現地講座 講師：高田 克宏（（公財）勝興寺文化財保存・活用事業団専務理事・学芸員） 開催場所：勝興寺 定員 20名
11・18・25	土	10:00～11:00	小中学生対象講座 能楽講座 講師：山崎 健（仕舞・歌謡） 瀬賀 尚義（太鼓・笛） 開催場所：文化芸能館3階『能舞台』 定員 各15名
25	土	10:00～12:30	料理講座「秋のフランス料理」 講師：川田 幹子（水月文華学園 園長） 開催場所：生涯学習センター6階 キッチンサロン 定員 15名
31	金	14:00～15:30	異彩を放った男たち 講師：立野 幸雄（元富山県立図書館長） 開催場所：生涯学習センター5階 研修室503 定員 50名 ※全2回（内1回は11月に開催予定）

## 福岡歴史民俗資料館事業

18	土	14:00～15:30	第37回企画展「横穴墓や木舟城から見る福岡町の歴史」 関連イベント 対談式ギャラリートーク 「福岡歴史民俗資料館開館当初から現在を振り返る」 講師：栗山 雅夫氏（奈良文化財研究所専門職員） 日和 祐樹氏（福岡歴史民俗資料館初代学芸員） 開催場所：福岡歴史民俗資料館 定員 40名（予約不要）
----	---	-------------	---

## 令和8年高岡市二十歳の集いの開催について

未来を担う二十歳の新たな門出を祝い励まし、今年度中に二十歳に到達する者が、改めて大人になったことを自覚するとともに、「ふるさと高岡」への愛着や人とのつながりを深める機会とするため、次のとおり、令和8年高岡市二十歳の集いを開催する。

(1) **開催日時** 令和8年1月11日（日）（成人の日の前日）午前10時30分～

(2) **会 場** 中学校区ごとに12会場 ※対象者数1,398名（9月1日現在）

	中学校区	会場
1	高陵	富山県高岡文化ホール 多目的 小ホール
2	高岡西部	高岡市生涯学習センター 4階ホール
3	南星	高岡市ふれあい福祉センター 多目的ホール
4	志貴野	高岡商工ビル 2階大ホール
5	芳野	高岡エクール エクールホール
6	伏木	高岡市伏木コミュニティセンター 多目的ホール
7	国吉	高岡市里山交流センター 多目的ホール
8	牧野	高岡市立牧野中学校 体育館
9	五位	高岡市立五位小学校 体育館
10	戸出	高岡市戸出コミュニティセンター 多目的ホール
11	中田	高岡市中田コミュニティセンター 多目的ホール
12	福岡	高岡市ふくおか総合文化センター 文化ホール

(3) **実施方法** 高岡市と二十歳の集い対象者を中心とした各中学校区の実行委員会が企画・運営

(4) **予 備 日** 大雪等により1月に開催できなかった場合は、令和8年5月3日（日）に開催する。

※高陵中学校区については、会場を変更し開催する。

中学校区	予備日の会場
高陵	高岡市立高陵中学校 体育館

報告第 7 号

臨時代理の報告について

高岡市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（平成 17 年高岡市教育委員会規則第 8 号）第 4 条の規定に基づき、令和 7 年 8 月 27 日付けで下記事項について臨時代理したので第 6 条第 2 項の規定により報告する。

令和 7 年 9 月 24 日提出

高岡市教育委員会教育長 近藤 智久

記

高岡市議会 9 月定例会に提出する議案に対する意見について

- ・ 令和 7 年度高岡市一般会計補正予算（第 3 号）
- ・ 工事請負契約の変更について（高陵中学校区小中一貫校校舎新築及び改修その 1 工事）
- ・ 工事請負契約の変更について（高陵中学校区小中一貫校校舎新築及び改修その 2 工事）
- ・ 工事請負契約の変更について（高陵中学校区小中一貫校校舎新築及び改修電気設備工事）
- ・ 工事請負契約の変更について（高陵中学校区小中一貫校校舎新築及び改修機械設備工事）

## 議案第78号

### 令和7年度高岡市一般会計補正予算（第3号）

令和7年度高岡市の一般会計の補正予算（第3号）は、次に定めるところによる。

#### （歳入歳出予算の補正）

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,435,722千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ84,029,933千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

#### （継続費の補正）

第2条 継続費の追加は、「第2表 継続費補正」による。

#### （地方債の補正）

第3条 地方債の追加及び変更は、「第3表 地方債補正」による。

令和7年9月1日提出

高岡市長 出 町 譲

第 1 表 歳入歳出予算補正

## 歳 入

款	項	既 定 額	補 正 額	計
		千円	千円	千円
15 国 庫 支 出 金		13,257,226	280,034	13,537,260
	1 国 庫 負 担 金	9,286,157	58,690	9,344,847
	2 国 庫 補 助 金	3,937,140	220,197	4,157,337
	3 委 託 金	33,929	1,147	35,076
16 県 支 出 金		6,514,540	11,344	6,525,884
	1 県 負 担 金	3,362,651	2,202	3,364,853
	2 県 補 助 金	2,712,922	9,142	2,722,064
19 繰 入 金		3,998,770	5,116	4,003,886
	1 基 金 繰 入 金	3,906,446	5,116	3,911,562
20 繰 越 金		3,346	732,456	735,802
	1 繰 越 金	3,346	732,456	735,802
21 諸 収 入		3,607,725	6,872	3,614,597
	5 雑 入	873,439	6,872	880,311
22 市 債		6,538,200	399,900	6,938,100
	1 市 債	6,538,200	399,900	6,938,100
補正されなかった款項に係る額		48,674,404	0	48,674,404
歳 入 合 計		82,594,211	1,435,722	84,029,933

## 歳 出

款	項	既 定 額	補 正 額	計
		千円	千円	千円
2 総 務 費		7,904,116	409,055	8,313,171
	1 総 務 管 理 費	6,195,715	405,763	6,601,478
	2 徴 税 費	856,857	2,145	859,002
	3 戸籍住民基本台帳費	486,951	1,147	488,098
3 民 生 費		29,177,736	112,160	29,289,896
	1 社 会 福 祉 費	9,981,053	38,012	10,019,065
	2 児 童 福 祉 費	13,330,346	67,400	13,397,746
	3 生 活 保 護 費	1,296,724	2,504	1,299,228
	4 災 害 救 助 費	4,313	4,244	8,557

款	項	既 定 額	補 正 額	計
4 衛 生 費		千円 7,010,053	千円 38,218	千円 7,048,271
	1 保 健 衛 生 費	1,901,606	292	1,901,898
	4 衛 生 企 業 費	2,704,974	37,926	2,742,900
7 商 工 費		4,773,732	15,000	4,788,732
	1 商 工 費	4,773,732	15,000	4,788,732
8 土 木 費		8,030,171	316,000	8,346,171
	2 道 路 橋 り ょ う 費	2,675,403	13,000	2,688,403
	4 都 市 計 画 費	1,083,368	303,000	1,386,368
10 教 育 費		8,781,274	352,018	9,133,292
	2 小 学 校 費	3,101,528	176,009	3,277,537
	3 中 学 校 費	1,978,793	176,009	2,154,802
11 災 害 復 旧 費		922,408	193,271	1,115,679
	2 土 木 施 設 災 害 復 旧 費	771,220	193,271	964,491
補 正 さ れ な か っ た 款 項 に 係 る 額		15,994,721	0	15,994,721
歳 出 合 計		82,594,211	1,435,722	84,029,933

第 2 表 継 続 費 補 正

追 加

款	項	事 業 名	総 額	年 度	年 割 額
10 教 育 費	2 小 学 校 費	伏 木 中 学 校 区 小 中 一 貫 校 整 備 事 業 ( 建 築 工 事 )	千円 1,760,090	令和7年度	千円 176,009
				令和8年度	880,045
				令和9年度	704,036
	3 中 学 校 費	伏 木 中 学 校 区 小 中 一 貫 校 整 備 事 業 ( 建 築 工 事 )	1,760,090	令和7年度	176,009
				令和8年度	880,045
				令和9年度	704,036

第 3 表 地 方 債 補 正

追 加

起 債 の 目 的	限 度 額	起 債 の 方 法	利 率	償 還 の 方 法
社 会 福 祉 債	千円 5,600	普通貸借 又 は 証券発行	3.0以内 ただし、利率見直し方式 で借り入れる資金につい て、利率の見直しを行っ た後においては、当該見 直し後の利率	借入れ先の融通条件に よる。ただし、市財政の都 合により据置期間及び償 還期限を短縮し、若しくは 繰上償還し、又は借り換 えることができる。

変 更

起 債 の 目 的	補 正 前				補 正 後			
	限 度 額	起 債 の 方 法	利 率	償 還 の 方 法	限 度 額	起 債 の 方 法	利 率	償 還 の 方 法
児 童 福 祉 債	千円 151,100	普通貸借 又 は 証券発行	3.0以内 ただし、利 率見直し方 式で借り入 れる資金に ついて、利 率の見直し を行った後 においては 、当該見 直し後の利 率	借入れ先 の融通条件 による。た だし、市財 政の都合に より据置期 間及び償還 期限を短縮 し、若しく は繰上償還 し、又は借 り換えるこ とができる。	千円 152,100	同 左	同 左	同 左
道 路 橋 り ょ う 債	604,400				616,100			
小 学 校 債	999,800				1,128,500			
中 学 校 債	940,400				1,069,100			
土 木 施 設 災 害 復 旧 債	325,800				450,000			



# 予算説明書

## (款) 10 教育費

### (項) 2 小学校費

(単位：千円)

(単位：千円)										
目	補 正 前	補 正 額	計	補正額の財源内訳				節		説明
				特定財源			一般財源	区分	金額	
				国県支出金	地方債	その他				
3 小学校建設費	1,362,874	176,009	1,538,883	32,910	128,700	0	14,399	14 工事請負費	176,009	伏木中学校区小中一貫校整備事業費 176,009
				国 県 32,196 714	地方債 128,700					
計	3,101,528	176,009	3,277,537	32,910	128,700	0	14,399			

### (項) 3 中学校費

3 中学校建設費	1,285,358	176,009	1,461,367	32,910	128,700	0	14,399	14 工事請負費	176,009	伏木中学校区小中一貫校整備事業費 176,009
				国 県 32,196 714	地方債 128,700					
計	1,978,793	176,009	2,154,802	32,910	128,700	0	14,399			

議案第94号

工事請負契約の変更について

令和6年3月27日に契約を締結した高陵中学校区小中一貫校校舎新築及び改修その1工事について、契約金額993,949,000円を1,029,375,600円に変更する。

令和7年9月1日提出

高岡市長      出   町      議

議案第95号

工事請負契約の変更について

令和6年3月27日に契約を締結した高陵中学校区小中一貫校校舎新築及び改修その2工事について、契約金額402,927,800円を404,971,600円に変更する。

令和7年9月1日提出

高岡市長      出   町      議

議案第96号

工事請負契約の変更について

令和6年3月27日に契約を締結した高陵中学校区小中一貫校校舎新築及び改修電気設備工事について、契約金額278,603,600円を281,056,600円に変更する。

令和7年9月1日提出

高岡市長      出   町      議

議案第 19 号

令和 7 年度高岡市教育委員会教育功労者表彰について

令和 7 年度の高岡市教育委員会教育功労者表彰を下記のとおりとする。

令和 7 年 9 月 24 日提出

高岡市教育委員会教育長 近藤 智久

記

受賞者 別紙名簿のとおり

令和7年9月定例会での質問及び答弁の概要（教育委員会関係）

○代表質問 令和7年9月3日（水）  
○一般質問（一括方式） 令和7年9月8日（月）、9日（火）

教育総務課

	質問	答弁	方式
1	<p>・教育環境等の今後について</p> <p>(1) 本市の学校再編の取り組みについて</p> <p>②寄附など地元から協力があつた学校施設などの取り扱いはどのように考えているのか、見解は。</p> <p>（教育長）</p>	<p>学校には、地域や卒業生などから寄附された施設や銅像、石碑、樹木、美術工芸品などが設置されている場合がある。</p> <p>これまで、学校再編の際には、こうした寄附による施設等については、経緯や状況に応じて、学校や地域等とも相談しながら、その取り扱いを判断しているところである。</p> <p>今後の学校再編においても、引き続き、学校や地域等とも丁寧に相談し、ご意見を承りながら取り扱いを検討し、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するよう取り組んでまいりたい。</p>	一括
2	<p>(2) 今年度実施された水泳授業の実証実験について</p> <p>①どのような成果があつたか。</p> <p>（教育長）</p>	<p>今年度の水泳授業の実証実験は、民間や県営のプールなどを利用して、主に6～7月にかけて高陵小学校、伏木小学校、木津小学校の3校で実施したところである。</p> <p>実施後、教員と保護者からは、「これまでの学校プールでは天候などにより計画通りに授業が実施できていなかったが、今回の実験では天候に関わらず計画通り授業が実施できたことがとても良かった」、「泳力のレベルに合わせて丁寧に指導してもらうことで泳力が高まり、また泳ぎに消極的な児童も積極的に活動することができた」、「教員がプール指導を学ぶよい機会になった」などといった声を聞いている。</p> <p>また、子どもたちからは、「プールが広くて泳ぎやすかった」、「水温が丁度良かった」、「丁寧に教えてもらい、昨年より泳げるようになった」といった感想が寄せられている。</p> <p>今回の実証実験では、学校の立てた計画通りに授業を実施できたこと、児童の泳力が高まったこと、教員にとっても水泳授業の指導技術を学ぶよい機会になったことなどから、学校外のプール施設を活用した水泳授業の実施には、一定の成果があつたと考えている。</p>	一括
3	<p>②今後、学校施設以外のプールでの指導が増えることが予想されることから、公共施設の老朽化や民間施設の減少などによる指導拠点の課題についてどのように考えているのか、見解は。</p>	<p>水泳授業の実証実験で一定の成果が得られたことを踏まえると、学校外のプール施設での授業実施を、今後拡大していても良いのではないかと考えているところ。ただ、そうした場合には、活動場所や移動手段の確保が今後課題になってくると考えている。</p> <p>そのため、施設ごとの受入可能な時期、回数、人数、また、移動手段の確保などについて調査・研究を進め、子どもたちにとって最適な水泳学習の環境をどのように整えていけばよいのか検討してまいり</p>	一括

	(教育長)	たい。	
4	③指導者には一定の指導力が必要と考えるが、見解は。 (教育長)	<p>実証実験では、施設等のインストラクターなどの指導者と教員が一緒になって子どもたちの指導にあたっている。</p> <p>今後、学校外のプール施設を活用して水泳授業を実施する際には、早めに施設等の指導者と教員が打ち合わせを行ったうえで計画を作成することや、施設等には一定の資格を持った指導者の方を充てていただくよう協力をお願いするなど、子どもたちの安全を確保しつつ、授業の効果をさらに高めることができるよう取り組んでまいりたい。</p>	一括
5	市内6中学校区で進行中の小中一貫校の整備状況について ・本市における「学校再編」の進捗状況は。また、今後の具体的予定は。 (教育長)	<p>学校の再編統合は、令和2年2月策定の「今後10年を見据えた高岡市における小中学校の配置について」の方針に示されている6中学校区において、当初の予定通りに進捗している。</p> <p>具体的には、国吉中学校区では、令和2年4月に県内初の義務教育学校が、五位中学校区では、令和6年4月に五位小学校がそれぞれ開校したところ。</p> <p>また、高陵中学校区では、現在、高陵中学校の校舎増築及び改修工事を行っており、令和8年4月に施設一体型の小学校と中学校、いわゆる小中一貫校となる予定である。</p> <p>高岡西部中学校区でも同様に、令和9年4月の施設一体型の小中一貫校の開校に向け、校舎の増築及び改修工事を行っている。</p> <p>さらに、伏木中学校区では、令和10年4月の開校を目指し、昨年度、統合小学校開設準備会を立ち上げ、伏木小学校、古府小学校、太田小学校の統合に向けた準備を進めており、今議会に工事に必要な予算案を提出させていただいているところ。</p> <p>なお、中田中学校区については、中田小学校に中田中学校を移転・併設し、小中一貫校とする計画としているが、予定通りに（地域の皆様のご意見も伺いながら）、令和9年度を目途に、整備に向けた準備に着手することとしている。</p>	一括
6	教育関連について ・県が進めている県立高校の再編について、本市として意見具申をしてきたのか。また、積極的に意見具申をすべきと考えるが、見解は。 (教育長)	<p>県立高校の再編に向けた検討が進められている中、これまでも県教育委員会に対して、子どもたちが多様な個性や能力を発揮し、夢や希望の実現に向け、ここで学びたいと思える魅力ある学校や学科、コース等を構築していただけるよう、要望してきているところ。</p> <p>本市における県立高校の教育環境の特徴は、普通科、商業系、工業系など幅広い学科やコースがバランスよく配置されており、子どもたちにとって、自分の将来を見据えた多様な進路選択が可能な環境が整っていることである。</p> <p>現在も、県において、学びたい、学んでよかったと思える県立高校づくりを推進するため、県立高校の再構築に向け検討が進められている。高校教育は、地域の産業や経済の基盤となる人材育成に重要な役割を果たしていることから、これまで各校が培ってきた歴史と伝統、特色を活かした多様な学びが可能となる環境を整えていただきたいと考えている。</p>	一括

		<p>県の検討状況を注視しながら、時代の変化に即応し、将来を見据えた新しい時代にふさわしい魅力ある高校の配置となるよう、県への要望や県教育委員会との意見交換など様々な機会を捉えて、引き続き意見を申し伝えてまいりたい。</p>	
--	--	--	--

## 学校教育課

	質問	答弁	方式
1	<p>・本市のこども施策・教育について  (2) (仮称) 教育総合支援センターについて  ①開設に向けたスケジュールと、運営方針は。  (教育長)</p>	<p>(仮称) 教育総合支援センターについては、令和8年4月の開設を目指し、現在、第1期工事として、旧平米小学校の新校舎部分の改修工事に取り組んでいる。令和9年度には、第2期工事に取りかかり、令和11年4月の完成を目指し、多目的スペース等の増築をすることとしている。</p> <p>新しくつくる(仮称)教育総合支援センターでは、チーム支援を大切にし、複合化、複雑化している不登校支援、外国人児童生徒支援、特別支援のそれぞれの領域において相談対応や支援を行うこととしている。その際には、各学校、さらには関係機関や民間支援団体等とも十分な連携を図り、総合的に子どもたちの健やかな成長と自立を支えることを目指してまいりたい。</p>	一括
2	<p>②運営において、生徒や生徒の親、支援団体を含めた様々な声が反映されるべきと考えるが、どのように反映していくのか。  (教育長)</p>	<p>(仮称) 教育総合支援センターの運営にあたっては、関係機関や民間支援団体等からのご意見も反映させて、支援の充実につなげることが大切であると考えている。</p> <p>そのため、開設に向けての支援内容等の検討にあたっては、不登校児童生徒や外国人児童生徒、特別な支援を必要とする児童生徒への支援を行う関係機関や民間団体、施設等の方々からもご意見をいただきながら協議を行っているところ。</p> <p>なお、来年4月の開設後、(仮称) 運営協議会を設置し、それには関係機関や民間支援団体等の代表者の方に加わっていただき、定期的によりよい支援や連携等の在り方について協議を重ねながら、常にセンターの運営の改善を図ってまいりたい。</p>	一括
3	<p>③運営において、公設民営方式をとり、専門性の高い事業者運営を任せるべきと考えるが、見解は。  (教育長)</p>	<p>(仮称) 教育総合支援センターでは、不登校や外国人児童生徒、特別な支援を必要とする児童生徒への支援及び保護者や学校からの相談への対応等に対する総合的な支援を目指している。そのため、それぞれの領域で経験豊富な人材や専門性の高い支援員等を配置したいと考えている。加えて、(仮称) 運営協議会には、民間の支援団体の代表者等も加わっていただき、センターの支援の充実・改善を図ってまいりたい。</p> <p>ご提案の公設民営方式による運営については、今後、先行の事例等も参考にしながら、調査・研究を進めてまいりたい。</p>	一括



4	<p>・教育環境等の今後について</p> <p>1)本市の学校再編の取り組みについて</p> <p>①小中一貫校のそれぞれ特色ある学校づくりをどのように進めているのか。</p> <p>(教育長)</p>	<p>令和2年度に開校した国吉義務教育学校に続き、令和8年度より順次開設する小中一貫校においては、学校を再編するにあたり、各学校が継承してきた伝統文化や地域の特色を生かした取り組みや教育活動を統合後の教育活動にうまく組み入れ生かしていくことが大切である。</p> <p>そこで、統合の数年前から各校の教職員、保護者や地域の方々の意見を伺いながら、新しい統合校での教育課程、学校行事、地域活動の在り方について協議を重ね、準備を進めているところ。</p> <p>学校再編を機に、子どもたちがより一層絆を深め、伝統を受け継ぎ、ふるさとへの愛着と誇りを育むことができるようなそんな新たな学校づくりにしっかり取り組んでまいりたい。</p>	一括
5	<p>・熱中症対策の推進について</p> <p>(2)熱中症対策に関する今後の取り組みについて</p> <p>③ 登下校時における児童生徒の熱中症対策の現状は。</p> <p>(教育長)</p>	<p>登下校時における児童生徒の熱中症対策については、各ご家庭でも子どもたちにネッククーラーや保冷剤、それを入れるポーチや袋などを用意したり、日傘を持たせたりなど、協力していただいている。</p> <p>学校では、登校後や下校前の体調確認のほか、下校前に水分を十分にとること、強い日差しを避け、なるべく日陰を選んで帰ることなど、具体的に指導している。</p> <p>引き続き、ご家庭や地域見守り隊等の協力も得ながら、子どもたちの安全、健康保持を第一に考え、状況に応じて柔軟かつ適切に、今しばらく続いている登下校時の厳しい暑さに対処していきたいと考えている。</p>	一括
6	<p>・「朝の小1の壁」解消に向けた授業前の居場所づくりについて</p> <p>(1)本市において、朝食を摂らずに登校する児童、生徒の割合は。</p> <p>(教育長)</p>	<p>本市において今年度行った「児童生徒の朝食に関する実態調査」によれば、朝食を何も摂らずに登校している児童生徒の割合は、(主に、朝食を摂る時間がなかったことを理由に)小学生は約2%、中学生は約4%という結果であった。</p>	一括
7	<p>・あらゆる子どもと保護者に安心できる子育て支援と居場所を</p> <p>(1)学校で特別な配慮が必要な児童・生徒への支援体制について</p> <p>①学校や学級に行きづらいつ感じている児童・生徒が安心して過ごせる居場所づくりの取り組みは。</p> <p>(教育長)</p>	<p>学校に行きづらいつ感じている児童生徒の中には、市の適応指導教室を利用している者もいる。そこでは、相談員が個別に関わり、学習の支援を行うとともに、児童生徒と相談しながら活動内容を決めるなど、一人ひとりの思いや個性を大切に活動になるよう配慮しながら支援している。</p> <p>そのほか、民間のフリースクールを利用している児童生徒もいることから、学校がそれらとの連携を図りながら子どもたちの支援に努めている。</p> <p>また、学校では、学級に行きづらいつ感じている児童生徒には、教室以外で過ごせる場所として、相談室や保健室、余裕教室を活用したフリー登校スペース等を用意している。</p> <p>子どもの状態に応じて、気持ちを汲み取りながら学年のスタッフやカウンセリング指導員、スクールカウンセラー等を中心に、学校全体でそれぞれの立場から関わりながら支援をしているところ。</p>	一括

8	②校内において学級以外で過ごす児童・生徒に対する支援スタッフの増員状況及び支援する際の課題は。 (教育長)	<p>学校には、登校はするものの学級以外の場所で過ごしている児童生徒を支援するため、カウンセリング指導員のほか、心の教室相談員を配置している。カウンセリング指導員については、昨年度から1名増員し、中学校5校に加え新たに小学校1校に配置している。心の教室相談員は、3名の配置を維持しているが、特別な支援を必要とする児童生徒をサポートするスタディ・メイトを今年度4名増員したところである。</p> <p>教育委員会としては、学級で過ごすことができないでいる児童生徒の支援体制の充実が課題であると考えており、引き続き支援員の確保に努めるとともに、カウンセリング指導員をはじめ、加配教員の増員やスクールカウンセラー等の配置拡充を要望してまいりたい。</p>	一括
9	③今年度、民間の不登校のフリースクール等を利用する児童・生徒の人数は。また、市内小中学校との連携状況は。 (教育長)	<p>本市において、今年度7月末現在で、小学生12名、中学生17名がフリースクール等の民間支援施設を利用している。また、市の適応指導教室に通所している児童生徒は、小学生が3名、中学生が7名である。</p> <p>各学校においては、それらの施設に訪問する、あるいは、オンライン会議システムを利用して、児童生徒の様子を把握したり、支援員の方と意見交換したりしているところ。</p> <p>今後とも、各施設と学校との情報共有をより綿密に図りながら子どもたちの支援がなされるよう努めてまいりたい。</p>	一括
10	④(仮称)教育総合支援センターについて ア 従来の学校と違った発想での子どもの居場所を確保するため、民間支援団体などの協力が必要だと考えるが、見解は。 (教育長)	<p>(仮称)教育総合支援センターにおいて、特別な配慮を必要とする児童生徒への対応には、年齢や心身の状況等に応じた柔軟で多様な支援が必要であると考えている。</p> <p>そのため、(仮称)教育総合支援センターの開設に向けて、これまで、関係機関や民間支援団体等の方々にも協力をいただき、センターの運営や支援内容等についてご意見をいただきながら準備を進めているところである。</p>	一括
11	イ 当事者及び保護者等の意見をセンターの運営に生かすため、民間関係機関や学校関係者、市民による「(仮称)教育総合支援センター検討会」を立ち上げては。 (教育長)	<p>来年4月のセンター開設後、(仮称)運営協議会を立ち上げることとしている。そこには、例えば不登校や外国人児童生徒の民間支援団体の代表者等にも加わっていただき、定期的にご意見をいただきながら、センターの運営や支援体制の改善に努めてまいりたい。</p>	一括
12	ウ 支援が必要な児童・生徒と保護者に向け、(仮称)教育総合支援センターや支援機関での支援メニューをどのように情報発信するのか。 (教育長)	<p>(仮称)教育総合支援センターの運営や支援内容について広くお知らせするため、リーフレットを作成することとしており、学校や関係機関で配付する以外にも、市のホームページや公式LINE等、様々なツールを活用し、積極的な情報発信に努めてまいる。</p> <p>また、民間支援団体において、相談窓口や県内の支援施設の概要、支援メニューをまとめたリーフレットが作成されている。それらを併せて紹介することで、支援が必要な児童生徒や保護者が、タイムリーに情報を得られるよう努めてまいる。</p>	一括

生涯学習・スポーツ課

	質問	答弁	方式
1	<p>・スポーツ振興について (1) スポーツ施設活用・配置計画に基づく竹平記念体育館のサブアリーナ建設についての思いは。 (市長)</p>	<p>サブアリーナの建設については、教育委員会が定めた「スポーツ施設活用・配置計画」において、新総合体育館建設までの段階的な対応として、竹平記念体育館へのサブアリーナ併設に取り組むとされていることは認識しているところ。</p> <p>将来的な新総合体育館の建設を見据えたとき、サブアリーナの建設は二重投資なのではないかということを訴えてきた。計画通り進めるべきかどうか、慎重に見定めなければならないと考えている。現在、既にサブアリーナの基本設計に着手しているが、これで規模や仕様、概算金額などをより正確に把握できる。</p> <p>将来的な新総合体育館の建設については、本市におけるスポーツ振興のみならず、交流人口の拡大や地域活性化のためにも必要であり、市民の誇り、子供たちの夢や憧れにつながる重要な施設であると考えている。</p> <p>私としては、サブアリーナの建設に対する基本スタンスは変わらないが、今後、基本設計の結果や将来的な新総合体育館の建設を踏まえながら、本市の財政状況など、様々な角度から検討を重ねたい。</p>	代表
2	<p>(2) スポーツと健康づくりの拠点であるスポーツコアについて、さらなる魅力向上を図ってはと考えるが、見解は。 (教育長)</p>	<p>高岡スポーツコアは、大型商業施設が近接し、アクセス道路も整備されているなど、立地環境に恵まれた施設であり、県内外から多くの方々にご利用いただいている本市の主要なスポーツ拠点施設の一つである。</p> <p>本市では、このスポーツ拠点の更なる魅力向上を図るため、令和5年度からスポーツコアリフレッシュ事業に取り組んでいる。今年度4月には、これまでのイベント広場について、照明設備の設置及び人工芝化を行い、新たに人工芝フィールドとして供用開始し、現在、大変多くの方にご利用いただいている。</p> <p>今後は、同じく大変多くの方にご利用いただいているテニスコートについて、摩耗が進んでいるコートの人工芝の張替えを行う予定としており、今年度は実施設計に着手しているところ。</p> <p>引き続き、施設全体の魅力を高めるための検討を進め、より多くの人々が集い、にぎわいのある施設となるよう、更なるポテンシャルの向上に努めてまいりたい。</p>	代表
3	<p>(3) 若年層に関心の高いアーバンスポーツを楽しむための今後の環境整備に向けた考えは。 (教育長)</p>	<p>スケートボードや3×3バスケットボールをはじめとしたアーバンスポーツは、若年層を中心に関心が高く、今後更なる人気の高まりが期待されるところ。本市においてイベント等が開催されることで、市内外の交流人口の更なる拡大につながることを期待されるものと考えている。</p> <p>現在、アーバンスポーツトライアルプロジェクトとして、特に愛好者が多いスケートボードについて、牧野大橋高架下に仮設のパークを設けて、利用状況の把握や利用者、周辺住民、企業等に対するアンケ</p>	代表

		ートなどのニーズ調査を実施しているところ。今後、調査結果を踏まえながら、アーバンスポーツを楽しむための環境整備に向け、立地や施設規模、内容等について検討を進めてまいりたい。	
4	<p>・高岡市文化芸能館について</p> <p>(1) 高岡市公共施設再編計画で廃止の方向性が示されているが、その理由と今後のスケジュールは。</p> <p>(教育長)</p>	<p>高岡市文化芸能館は、昭和 51 年に高岡市青年の家として整備され、令和 2 年には名称を高岡市文化芸能館へ改称し現在に至り、様々な社会教育・文化活動の場として利用されている。</p> <p>しかしながら、築 49 年を経過し、老朽化が進んでおり、今後長年にわたっての使用は難しいと考えられること、また、近隣に複数の社会教育施設もあることから、高岡市公共施設再編計画において、2032 年度（令和 14 年度）までに廃止とされている。施設廃止に向けては、今後、関係団体等とも協議しながら検討を進めてまいりたい。</p>	一括
5	<p>(2) 貴重な文化財産である能舞台を残していくべきと考えるが、見解は。</p> <p>(市長)</p>	<p>高岡の能文化は、前田家の支援を背景に加賀藩で栄えた宝生流が、支藩である富山藩や高岡にもその伝統が受け継がれたものであり、現在に至るまで、その歴史と文化は着実に継承されてきている。</p> <p>高岡市文化芸能館にある能舞台は、昭和 51 年に県内で初めてしつらえられた本格的な総ヒノキ造りの舞台であり、貴重な価値のあるものと認識している。現在、この能舞台は、能の稽古や発表会のほか、小中学生を対象とした能楽講座等で利用されるなど、本市の伝統芸能の普及・発展の中心として機能している。</p> <p>施設自体は高岡市公共施設再編計画において廃止とされているところであるが、この能舞台の取扱いについては、専門家や関係団体等のご意見もいただきながら、今後検討してまいりたい。</p>	一括
6	<p>・災害について</p> <p>(3) 竹平記念体育館サブアリーナ建設はスポーツ施設としての機能だけでなく防災避難所の機能を有する施設として想定されており、建設を進めていくべきと考えるが、見解は。</p> <p>(市長)</p>	<p>サブアリーナの建設については、教育委員会が定めた「スポーツ施設活用・配置計画」において、新総合体育館建設までの段階的な対応として位置付けられており、また、メインアリーナ廃止後は、避難所機能を有した社会体育施設としての活用が想定されていることは認識しているところ。</p> <p>将来的な新総合体育館の建設については、本市におけるスポーツ振興のみならず、交流人口の拡大や地域活性化のためにも大変重要な施設であると考えている。このような将来的な新総合体育館の建設を見据えたとき、このサブアリーナの建設は二重投資になるのではないかと、私はこの選挙戦を通して訴えてきた。</p> <p>私のサブアリーナの建設に対する基本スタンスは変わらないが、地域における避難所機能の確保は、安全・安心なまちづくりを進める上では、非常に重要な要素である。今後、そのような視点や本市の財政状況など、様々な角度から検討を重ねたい。</p>	一括
7	<p>・アーバンスポーツに対する本市の想いは。</p> <p>(教育長)</p>	<p>スケートボードや 3×3 バスケットボールに代表されるアーバンスポーツは、音楽やファッションとも融合しながら、総合的なパフォーマンスを競う都市型スポーツの総称であり、若年層を中心に人気を集めているところ。本市において、このようなアーバンスポーツのイベント等が開催されることにより、市内外の交流人口の更なる拡大に</p>	一括

		<p>つながることが期待できるものと考えている。</p> <p>今後、アーバンスポーツトライアルプロジェクトとして実施しているニーズ調査の結果を踏まえながら、アーバンスポーツを楽しむための環境づくりに向けて、市内のどこに、どのような規模で、どのような機能を持った施設を整備すればよいかなど、検討を進めてまいりたい。</p>	
--	--	---	--